

第2学年3組 図画工作科学学習指導案

【日時】令和4年7月21日(木) 9:45~10:30 【場所】2年3組教室 【指導者】島崎 智朗

本授業の主張点【深い学びの児童の姿】

お気に入りの音から発想した楽器をつくる活動を通して、自分の表したいことに合った形や色を見付け、それらを選び、組み合わせながら意味や価値をつくりだしていく児童の姿をお見せします。

1 題材名 いい音、いい色、いい形（工作に表す）

2 題材の構想

(1) 題材について

本題材は、「音づくり」と「楽器づくり」の2つの活動からなる工作に表す題材である。「音づくり」の活動では、紙、金属、プラスチックといった様々な材料を手に取り、叩く、振る、弾く、こするなどをして十分に材料に親しむ。児童は、材質の違いから生まれる音の違いに気付き、自分の好きな音をつくるために様々な材料の組み合わせや音の鳴らし方を試すことで材料の特性を捉えることができるだろう。そして、作りだした音を比較しながら、お気に入りの音を見付けだしていく。「楽器づくり」の活動では、お気に入りの音からイメージした形や色を工夫してオリジナルの楽器をつくる。表したい形や色を比較・選択しながらオリジナルの楽器をつくることで、造形的な見方・考え方を働かせることができる。また、音楽科「いろいろなながっきの音をさがそう」の学習とつなげることで、児童が経験したことを表現に生かすことができる題材でもある。すず、トライアングル、タンブリンなど、いろいろな楽器を鳴らしたことはもちろん、友達と一緒に合奏をする楽しさを児童は経験してきている。本題材でも、終末場面で演奏会を開くなどを行うことで、活動の達成感や造形活動の楽しさをより児童が実感できると考える。

(2) 児童について

本学級の児童は、造形活動への意欲が高く、進んで自分の思いを表現しようとする児童が多い。年度初めのアンケートでは、「図工の学習は好きですか」という項目に対して、肯定的な回答をした児童は34名中33名であった。しかし、「図工で学習したことが自分の生活に役立っていると思いますか」という項目に対しては、肯定的な回答は34名中29名とその数が減少している。表したいことを素直に表現しようとする今の時期にこそ、身近な生活と造形活動のつながりを児童に実感させたい。

4月に実践した「春の色をあつめよう」では、生活科の学習とつなげ、身の回りの自然から自分の好きな春の色を見付ける鑑賞の活動を行った。また、5月に実践した「しぜんとなかよし」では、国語科の「たんぼのちえ」や生活科の「野菜を育てよう」とつなげることで、それらの学習経験から発想を膨らませ、のびのびと絵に表すことができた。活動中に「いい感じの表現ができた」「ここをこだわった」と思った場面では、一人一台タブレットを活用したデジタルポートフォリオの作成を行っており、児童は、活動中に働かせた造形的な見方・考え方に目を向けることができるようになってきている。さらに、朝の時間の活動では、季節や気持ち、音などから形や色をイメージし友達と交流する活動を行っている。

(3) 指導について

第1次「音づくり」では、様々な材料を組み合わせながら音が鳴る仕組みをつくり、自分のお気に入りの音を見付けることができるようにする。そのために、児童が家から持ってきた材料だけでなく、箱やプラスチックカップ、空き缶など、材質の異なる材料を準備し、様々な表現を試しながら音を比較できるようにする。また、作りだした音の動画をデジタルポートフォリオに保存し、自分で確かめることで、作りだした音のよさに気付くことができるようにする。

第2次「楽器づくり」では、第1次で作りだしたお気に入りの音からイメージし、形や色を工夫しながらオリジナルの楽器をつくっていく。ここでは、児童が記録したデジタルポートフォリオを参考にしながら、児童一人一人の思いに合わせた材料や場を準備することで、児童が発想を広げながら自分の表したい表現に近づくことができるようにする。また、題材の終末場面では、つくったものを実際に演奏し、互いの楽器のよさを交流することで達成感を感じ取らせたい。

3 題材の目標と評価規準

(1) 題材の目標

音が鳴る材料や仕組みから表したいことを見付け、形や色を選びながら工夫して表すことができる。

(2) 評価規準

ア 音が鳴る材料や仕組みから、感覚や行為を通して形や色、鳴らした音の感じなどに気付き、手や体全体の感覚を働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。 【知・技】

イ 音を鳴らして感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。また、自分たちの作品や材料から見方や感じ方を広げている。 【思・判・表】

ウ つくりだす喜びを味わい、音が鳴る材料や仕組みから、思いついたものをつくる活動に取り組もうとしている。 【主】

4 題材の計画 (全5時間)

- (1) 音づくり (2時間) (2) 楽器づくり (3時間)

5 本時の指導 (3/5)

(1) 目標

お気に入りの音から発想を広げ、表したいことに合わせて形や色を考え、表し方を工夫しながら楽器をつくらることができる。

(2) 評価規準

表したいことに合った形や色を見付け、いろいろな表し方を試しながら、どのように表すかについて考えて表現することができている。 【思・判・表】

(3) 展開

学習活動と児童の反応 ([])	教師の働きかけと形成的評価 (◆)
<p>1 本時の見通しをもち、めあてを立てる。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分だけの楽器をつくりたいな。 ・お気に入りの音に合った形や色で飾りたいな。 	<p>1 本時の見通しと活動意欲をもつことができるように、前時のデジタルポートフォリオの動画を紹介し、本時に頑張りたいことを全体に問いかける。</p>
<p>形や色、飾りを工夫して自分だけの楽器をつくらう</p>	
<p>2 オリジナルの楽器をつくる。(35分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カンカンという高い音がするから、明るい色をたくさん使おう。 ・雨の音に似ているから、雨の日をイメージしてつくってみよう。 ・好きな色をたくさん使った楽器にしたいな。 ・赤色と青色はどちらの方が合うかなあ。 ・オリジナルの楽器にしたい。形も工夫しよう。 ・楽しい感じの楽器にしたいから、飾りをたくさん付けよう。 ・〇〇さんのアイデアは参考にできそうだな。 ・いい感じにできたぞ。写真に記録しておこう。 ・振った時に飾りが揺れるように、紙テープをつけよう。 	<p>2-(1) 表したいことに合った形や色を見付け、選び、組み合わせながら表現することができるように、デジタルポートフォリオに事前に目を通しておくことで、児童に合った場の設定や声掛けを行うことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆表したいことに合った形や色を見付け、試すことができているか。(活動の様子) 【思・判・表】</p> <p>B 様々な材料を試しながら、自分なりに飾りつけをしている。</p> <p>C→ 製作途中の作品について、好きな所やこだわっている所を尋ねることで思いを引き出し、必要な助言を行う。</p> </div>
<p>3 振り返りをし、次時への見通しをもつ。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色を工夫したら表したいイメージに近づくことができたぞ。 ・友達の楽器も素敵だな。 ・この調子で形や色、飾りを工夫して、オリジナルの楽器を完成させたいな。 	<p>2-(2) 児童の思いを引き出し、つくいだした意味や価値への自覚を促すために、全ての児童に称賛や共感の声掛けを行う。</p> <p>2-(3) 上手くいった表現(いい音、いい色、いい形)ができた時には、タブレットのカメラ機能で記録をとることで、つくいだした意味や価値を自覚することができるようにする。</p> <p>3 デジタルポートフォリオの記録や活動の様子から、形や色を工夫しながら表現する児童の姿を称賛し活動を価値付けることで、次時への意欲につなげるようにする。</p>

